

☆ 全国患者・家族集会 2017 アピール ☆

私たちは全ての難病患者、長期慢性疾患患者、がん患者、障害者、高齢者が差別・区別されることがなく、平等・公正に医療を受けることができる社会となることを求めています。

厳しい冬の訪れがやってきた日に、私たちは北海道から、沖縄から様々なそしてそれぞれの困難をおして、我が国の首都東京へと、難病や長期慢性の病気、がんに苦しんでいる患者と家族を代表して集まってきました。

病気の子供の通学を支える母の長年の辛い日々、病気によっていわれのない差別にさらされている実態、生きていく限り生涯続く医療費の負担、新しい治療法の進展に希望を見つけた話、就学や就労を通じて社会とのつながりを求める難病患者の話や、住んでいる地域での治療に希望を託しながらもかなえられない患者と家族の話、そして医療格差の現実や、生活を支える福祉サービスへの期待を語った人たち。それはこの国の未来と希望へとつながる期待と願いの話ばかりでした。

この集会に集まった、そして送り出してくれた仲間たちの、日常の困難にも希望と期待に満ちた話のほんの一部でしたが、私たちはこの小さな、報道もされないような集まりに、もっと大きな希望と未来を見つけようとしているのです。

私たちは、病気を理由とするすべての差別や偏見がこの社会からなくなり、全ての難病患者、長期慢性疾患、がん患者、障害者、高齢者などの患者と家族の困難と生きづらさが解消され、人としての尊厳が守られ、地域で共に生きてゆく生活をしている者の一人として、未来への希望を持つことができる社会が一日も早くに実現することを心から願っています。

2017年11月25日

～誰もが安心して医療を受けられる社会をめざして～

全国患者・家族集会 2017